

つくばシンポジウム

「先端科学技術都市つくばの 都市と環境の未来」



平成22年5月24日(月) 会場:つくば国際会議場 中ホール
14:00 ~ 16:00 茨城県つくば市竹園2丁目20-3

参加無料(事前申し込み要)

■ プログラム (14:00 開会 16:00 閉会)

基調講演 (14:10 ~ 14:50)

「基礎研究と目的研究」

吉川 弘之 (産業技術総合研究所最高顧問)

「環境・エネルギー問題への
筑波大学の取り組み」

山田 信博 (筑波大学学長)

パネルディスカッション (14:50 ~ 16:00)

パネリスト:市原 健一 (つくば市長)
(順不同) 村上 周三 ((独)建築研究所理事長)
山田 信博 (筑波大学学長)
吉川 弘之 (産業技術総合研究所最高顧問)
尾島 俊雄 ((財)建築保全センター理事長)

コーディネーター:寺本 英治 ((財)建築保全センター専務理事)

【主催】財団法人 建築保全センター 【共催】つくば3Eフォーラム

【後援】国土交通省、つくば市、筑波大学、筑波研究学園都市交流協議会、(社)日本建築学会、(社)建築業協会

つくばシンポジウム「先端科学技術都市つくばの都市と環境の未来」

筑波研究学園都市(「つくば」)は、科学技術の振興と高等教育の充実に対する時代の要請に応えるため、また東京の過密対策を目的として、1963年9月の閣議了解により建設が決定されました。現在は、国、独立行政法人、大学など34機関と県、公益団体、民間企業の研究所、合わせて約300の研究機関が集積し、1万8000人の国内研究者と海外約120箇国から4000人の研究者が集まる世界に誇る研究学園都市に成長しています。また昭和62年にはつくば市が誕生し、現在人口が21万人を超え、つくばエクスプレスで東京と直結され、交通アクセスも大変便利になりました。

「つくば」は、最先端の科学技術研究のための理想都市として計画され、2009年には建設着手から40年が経過し、2013年には閣議決定から50年を迎えます。理想都市計画の決定から約半世紀にわたり、最先端科学技術都市として、また官民様々な分野の研究・教育機関が集積している利点を生かして、科学技術の発展に大きな役割を果たしてきました。しかし最近は一団地の官公庁施設の廃止により、理想都市計画から変貌すること等が懸念されています。また一方では、環境・ロボットなどのイノベーション技術を都市レベルに展開する提案がなされる等、次世代の科学技術都市、先端的環境都市として、新たな成長の可能性が芽生えつつあります。

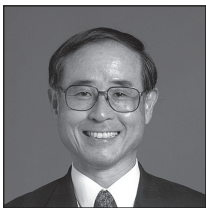
これらを背景として、「つくば」の都市と環境への様々な取り組みの現状と未来への提案について、それぞれのご専門のお立場から語っていただきます。

パネリスト紹介

コーディネーター



市原 健一
つくば市長



村上 周三
(独)建築研究所
理事長



山田 信博
筑波大学学長



吉川 弘之
産業技術総合研究所
最高顧問



尾島 俊雄
(財)建築保全センター
理事長



寺本 英治
(財)建築保全センター
専務理事

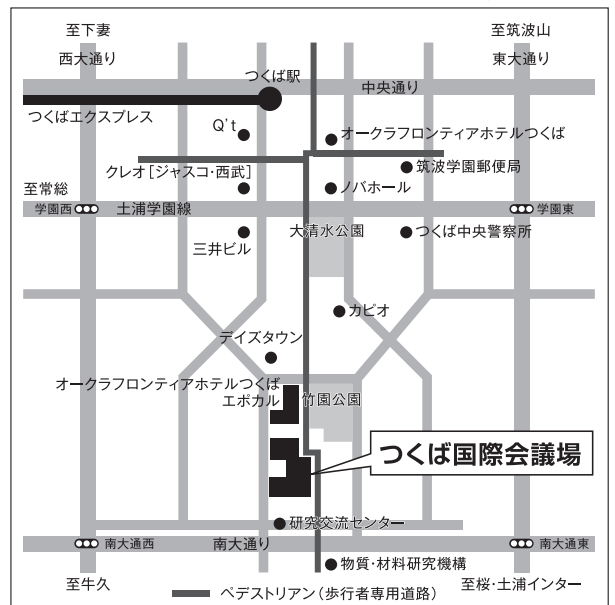
◆ お申し込みは【ホームページ(<http://www.bmmc.or.jp/>)】の開催案内から
若しくは【FAX:03-3553-6767から】必要事項をご記入の上お申し込み下さい。

財団法人 建築保全センター 担当 試験研修部

〒104-0033 東京都中央区新川1-24-8

TEL:03-3553-0070 E-mail:info@bmmc.or.jp

(会場案内図)



代表者	
勤務先・役職	
住所	〒
電話番号 (連絡先)	
FAX番号	
参加者名	所属等 (申し込み代表者と異なる場合など)